

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出) 委員會會議錄(速記) 第五回

會議

大正十五年二月六日(土曜日)午前十時
三十七分開議出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君 飯塚春太郎君

神部 爲藏君 太田信治郎君

奥村 千藏君 中島 守利君

松本 眞平君 堀切善兵衛君

山本条太郎君 佐々木文一君

長田 桃藏君 星島 二郎君

山内 範造君 高橋 光威君

本多貞次郎君 沼田嘉一郎君

清水 長郷君 佐々木平次郎君

岡田 温君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 濱口 雄幸君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 小山 松壽君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農工參與官 野村 嘉六君

農工省工務局長 宮内國太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 是ヨリ關稅定率法中改

正法律案ノ委員會ヲ開キマス、前日ニ
引續イテ大藏大臣ニ對スル質問ヲ繼續
致シマス——山本条太郎君

○山本委員 昨日本藏大臣ヨリ私ガ御

尋ヲ致シタル貿易關係及國際貸借

ノ改善ニ對シテハ、御答辯ヲ承ツタノデ

アリマス、繰返シテ私ガ申上ゲル通り

ノ經濟狀況デアル、貿易ノ前途ニ對シ

テ大藏大臣ハ見込ガ付カヌ、併ナガラ

私共ガ觀測致シマスル貿易ノ前途ノ悲

觀ニ對シテハ、稍御同感デアルト云フ

御口吻ヲ伺フタデアリマス、之ニ對シテ

吾々ハ如何ニシテモ我國トシテハ重大

ナ事デアアル、若シ此今日ノ貿易ノ趨勢

ヲシテ數箇年間繼續スルモノト見レ

バ、我國ノ國難トモ云フベキ場合ニ遭

遇スルト云フコトハ、甚ダ明カデアアル

ヤウニ考ヘルノデアリマス、大藏大臣

ハ貿易ノ見込ガ立タヌ、稍悲觀デアアル、

而シテ之ニ對シテ國民ガ安心スルヤウ

ナ、具體的ノ成算ノアル御説明ヲ承ル

コトガ出來マセヌノハ、甚ダ殘念ニ思

フノデアリマス、經濟狀況ニ對シテ列

國ノ執ッテ居リマス態度ハ、私共寡聞ノ

者デアリマシテモ、大ニ注意ヲ惹クヤ

ウナ事ガ澤山アリマス、英國ガ砂糖ニ

對シテ、其栽培費ノ全部ニ當ルヤウナ

保護ヲ與ヘ、濠洲ニ於テハ外國カラ這

入ル砂糖ノ輸入ヲ全然禁止スル、其他

米國、獨逸ニ於ケル我が絹織物ニ對ス

ル輸入税ノ如キニ對シテモ、其海外貿

易ヲ維持シ、産業ヲ發展サセルト云フ

コトニ對シテハ、洵ニ英斷的ニ卒直ニ

有ユル手段方法ヲ講ジテ居ルト云フコ

トハ極メテ明カデアアル、此秋ニ當ッテ最

モ貿易ニ重大ナ關係アル關稅ノ改正案

ヲ提出ニナツタノデアリマスカラ、此列

國ノ狀況ニ照シ、日本ノ經濟狀況ニ鑑

ミテ、今少シク大膽ニハッキリ國民ノ安

心スルヤウナル名案ヲ、此提出ト共ニ

御考慮ニナラレナカッタコトハ、私共洵

ニ遺憾デ、甚ダ心許ナク感ズルノデア

リマス、併シ此問題ハ昨日既ニ繰返シ

伺ヒ、ソレ以上ノ事ハ御尋申上ゲテモ、

恐ラク同ジ御答辯ヲ伺フコトと思ヒマ

スカラ、此問題ハ私ハ此所デ止メテ置

キマス、第二ニ御伺シタイノハ、今回ノ

關稅ノ率ノ改正ニ對シテ、政府ハ此稅

率ノ増減按排ニ對シテ、如何ナルモノ

ヲ基礎トシテ増減按排セラレタノデア

リマス、從來ノ關稅率ヲ基トシ、之ニ

對シテ増減按排セラレタノデアリマ

スカ、或ハ國ノ産業若クハ貿易ト云フ

ヤウナコトニ見地ヲ置カレマシテ、獨

特ナル主義方針ノ下ニ關稅率ヲ御改正

ニナツタノカ、大體ノ事ニ付テ根本ノ御

質問デハナカッタヤウデアリマス、私カ

ラ一寸一言申上ゲテ置キタイと思ヒマ

スコトハ、昨日山本君ノ御述ベニナリ

マシタ、貿易ノ前途ニ付テハ甚ダ憂慮

スベキモノガアルト云フ御話デアリマ

ス、其點ニ付テ政府ハドウ考ヘルカト

云フ御質問ガアリマシタガ、是非常

ニ困難ナ問題デアリマシテ、或ハ關稅

政策其他航路ノ擴張、或ハ產米ノ増殖

ノ計畫、國產獎勵ト云フ如キ、出來得ル

ダケノ手段ヲ講ジテ、貿易ノ前途ヲ有

利ニ導ク、其有利ニ導クニハ固ヨリ政

府ノ施設ノミデハイケナイ、官民一般

ノ努力ヲ要スルト云フコトヲ申述ベタ

ノデアリマス、貿易ノ前途ニ付テ見込

ガ立タヌト云フコトハ申シマセヌ積リ

デシタガ、見込ノ立ツノハ困難デアアル

ト申シタ、見込ガ立タヌトハ餘リ絶望

的ノ言葉ニ聽エマスカラ、是ハ政府ト

シテ慎重ムベキコトデアアルと思ヒマシ

テ、茲ニ訂正致シテ置キマス、見込ガ立

タヌト云フ意味デ申シタノデアアリマ

セヌ、前途有利ニ導クト云フコトニ政

府モ最善ノ力ヲ致スト云フ趣意デアリ

マシタカラ、此事ハ特ニ申上ゲテ置キ

マス、又ドチラカト申シマスルト、山本

君ハ貿易ノ前途ニ對シテ悲觀論ヲ持タ

シテ居ルヤウデアリマス、ソレニ對シ

聽取ニナレバ、ソレハ左様デハアリマセヌ、私ハ樂觀モ致シマセヌ、悲觀モ致シマセヌ、貿易ノ前途ヲ政府ガ悲觀スルト云フヤウナコトハ、是ハ重大ナル問題デアリマス、斯ノ如キ狀態ニ於テ、公然貿易ノ前途ニ對シテ悲觀說ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、私ハサウデナイト云フコトニ御訂正置キヲ願ヒマス、ソレカラ後段ノ御質問デアリマスガ、此度ノ關稅ノ改正案ヲ立案スルニ當ッテ何ヲ基礎ニ致シタカ、即チ現行ノ稅率ヲ基礎ニ致シタカ、ソレニ對シテ或ハ引上ゲ、或ハ引下ゲ、或ハ据置クト云フヤウナ工合ニ、總テ現在ノ稅率ヲ標準トシテ之ヲ行ッタルデアルカ、サウデナケレバ他ニドウ云フ方針ヲ以テヤッタノデアルカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ承リマシタ、是ハ法律案ノ上程ノ時ニ於テ、本會議ニ於テモ其方針ヲ説明致シマスルシ、又此委員會ニ於キマシテモ、最初ニ繰返シテ申シタト思ヒマスガ、現在ノ稅率ヲ標準ト致シ、ソレニ對シテ引上ゲ、或ハ引下ゲ、或ハ据置クト云フ方針デハナイノデアリマス、即チ總テ内外ノ經濟狀態、産業ノ狀態ヲ十分ニ比較ヲ致シマシテ、サウシテ斯ウ云フ稅率ヲ盛ルコトガ、最モ適當デアルト云フ目標ヲ定メテ、其適當ト思フ所ニ向ッテ稅率ヲ盛リマシタ、其結果ガ現行ノ稅率ト比較ヲ致シテ見マスルト云フト、大體ニ於テ据置ケバ宜シイコト

ニナルト認メタモノガ澤山アリマス、或ハ是ダケ引上ゲナケレバ内地ノ産業ヲ保護スルニ適當デナイト云フノデ、引上ニ當ッタモノモアリマス、ソレハ現在ノ稅率カラ見レバ、幾分カノ引上ニナッテ居ル、其基ク所ハ、重要産業ニ於キマシテハ、内地ニ於ケル所ノ生産費、ソレト競争シテ居ル外國品ノ沖着値段トノ其差額ヲ見出シマシテ、是ダケノ開キガアルニ依テ、其開キダケノ率ヲ設ケナケレバ、正當ナル競争ガ出來ナイト云フコトヲ標準ト致シマシテ稅率ヲ盛ッタルデアリマス、必シモ現在ノ稅率ニ拘泥シタ譯デハアリマセヌ、併ナガラ多數ノ品物ノコトデアリマスルカラ、諸般ノ點カラ考究致シマシテ、現在ノ稅率ヲ据置イテモ大ナル影響ガナイト云フモノニ付テハ、現在ノ稅率ニ止置イタモノモアリマス、併ナガラ重要産業或ハ生活ノ必要品ト云フガ如キモノニ付キマシテハ、前段申上ゲマシタ通り、現在ノ狀況ヲ十分ニ考慮致シマシテ、ソレニ對シテ適當ナル率ヲ盛ッタルデアリマス、今日ノ稅率ニ拘泥ハ致シテ居ラス積リデアリマス

○山本委員 只今大藏大臣ハ關稅ノ率ヲドノ邊ニ置イタト云フコトニ付テ御話ガゴザイマシタガ、其中ニ政府ガ御覽ニナル所ハナイ内地製品ハ其生産費ヲ一方ニ於テ基礎ト爲シ、他ノ一面ニ於テハ外國品ノ沖着値段ヲ標準トシテ、是ト對照シテ稅率ヲ御定メニナタ、私ハ必ズ其御趣意デナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、所謂公正ナル競争ヲ爲シ得ル最少限度ニ於テ稅率ヲ置カレタト云フ御趣意デアッタノデアリマスルガ、此取方ガ私ハ兩方ノ例ヘバ内外ニ互ッタル生産費ト生産費トノ對照デナケレバ公正ノモノデハナイト考ヘル、相場ガ始終動クト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリマスガ、ドウシテモ生産費ノ根本ニ於テ確實ナル差額ヲ見出シ、其差額ダケガ關稅ノ上ニ於テ改メラレル、即チ法律ニナルト云フ意味ニナラナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、政府ハ此沖着値段ダケヲ比較サレタ、外國ニ於ケル生産費ニ對スル御調査ハ、何カ基礎ガアリマスノデアリマスガ、ソレヲ御尋致シマス

○濱口國務大臣 只今申シマシタコトハ、外國品ノ沖着値段ニ無論ハ陸揚費ヲ加ヘタモノ、内地ノ物品ニ對シテハ工場ヲ出マス時ノ價格、ソレヲ比較ヲ致シテ、其差額ヲ以テ大體ニ於テ公正ナル競争ヲスル場合ニ於ケル所ノ最少限度ノ稅率ト云フコトニ致シテ、ソレヲ盛ッテアリマスガ、倍テ外國品ノ日本ニ到着ヲ致シタ所ノ沖着値段ト云フモノハ、果シテ正當ナル値段デアルカ、即チ外國ノ製造品デアラナラバ、工場ニ於テ製造セラレタル所ノ其費用ニ對シテ、外國ノ積出ノ港マデノ正當ナル運賃ヲ加ヘテ、ソレカラ海上ノ運賃保險料ヲ加ヘタモノト云フ、即チ裸ノ生産費、本當ノ生産費デアッテ、ソレヲ基準トスレバ公正ナル競争ヲスル上ニ於テ誤リノナイ値段デアルト云フコトヲ、如何ニシテ之ヲ確メルカ、斯ウ云フ御質問、即チ沖着値段ト云フコトガ、其品物ノ海外ニ於ケル所ノ本當ノ生産費ニ該當スルモノデアルカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、洵ニ是ハ御尤ナ御質問デアリマス、特別ノ事情ノナイ限りハ、大體沖着値段ヲ以テ正當ナル價格ト認ムル外ハナイノデアリマス、其沖着値段ガ外國品ノ正當ナル生産費ト符合シナイ、是ハ不當ナル値段デアルト云フコトヲ正確ニ調査ヲ致シ、正當ト認ムル所ニ依テ訂正ヲシテ、實際ノ沖着値段ハ斯ウナッテ居ルケレドモ、是ハ斯様に訂正スベキモノデアルト云ッテ、之ヲ訂正ヲ致シテ、ソレト内地ノ生産費トヲ比較ヲシテ稅率ヲ定ムルト云フコトハ、是ハ至難ノ事業デアリマス、即チ外國ニ於ケル正當ナル生産費ガ幾ラデアルト云フコトヲ、之ヲ正シク調査ヲスルト云フコトハ、是ハ甚ダ困難ナル事柄デアラウト思ヒマスカラ、大體ニ於テ外國品ノ沖着値段ト云フコトヲ其比較ニ取ッタ譯デアリマス

○山本委員 只今ノ御答ハ、恐ラク沖着値段ト云フコトガ、何年間ト云フヤウナ據ルベキ統計ニ依テ必ズ御算出ニナッタモノト考ヘマスガ、左様ニ心得テ何年ト云フコトノ……

○濱口國務大臣 ソレハ即チ昨日モ申上ゲマシタ、大正十一年ノ七月カラ十二年ノ六月ニ至ルマデノ滿一箇年ノ平均値段デアリマス

○山本委員 關稅改正ノ御趣意ハ、言フマデモナク産業ノ發展及輸入ヲ防グ、斯ウ云フ御趣旨デアルコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、此度ノ關稅ノ改正ニ當リマシテ、品種ニ依テ經濟的ニ容易ニ發展スベキ産業、又或モノニ依テハ其事業ガ完成スルノニ比較的多額ノ資金ヲ要シテ不經濟デアアル、且ツ多年ノ年月ヲ要スルコト云フヤウナ種類ノモノニ對シテ、關稅率ノ上ニ或ル加減ガ加ヘラレテアリマスガ、ドウカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、私其ノ見ル所ヲ以テ見レバ、同一ノ資本額ヲ以テ、其結果ハ貿易ノ上ニハ、一年ニ例ヘバ一億圓ノ輸入ヲ防ゲル、他ノ一方ニ於テ同一ノ資本ヲ投シタル事業ハ、之ニ對シテ僅ニ五千萬圓ノ輸入ヲ防ゲルト云フヤウナ種類ガ、必ズ日本ニ現在輸入サレテ居ル輸入品ノ中ニハ澤山アルデアラウト考ヘル、日本ノ國情カラ見テ成ベク容易ニ、成ベク經濟的ニ發展スル産業、而シテ輸入ヲ防グト云フ目的ガ、若シ國ノ根本方針デアルナラバ、關稅率ヲ御定メニナル上ニ於テ、必ズ何等カノ差等ヲ玆ニ設ケテナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、關稅ヲ御定メニナル場合ニ當ッテ、ドウ云フ加減ガ加ヘラレテアリ

マスカ、ソレヲ御尋シタイ

○濱口國務大臣 只今ノ御質問デアリマスガ、内地ノ産業ノ狀態カラ考ヘマシテ、又製造業ノ將來ノ見込ヲ研究致シマスルト云フト、御説ノ如キ區分ガアルデアラウト思ヒマス、即チ同一ノ資本ヲ下シテ置キマシテモ、ソレニ依テ將來ニ互テ外國品ノ輸入ヲ防遏シマスル其程度ガ、大分懸隔ノアルモノモアラウト思ヒマス、然ルニ此度ノ關稅ノ改正ニ於キマシテハ、昨日モ堀切君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマシタ通り、其稅率ヲ盛ルニ當リマシテ、外國ノ輸入品ヲ直ニ防遏スルト云フ目的ヲ以テ、ソレニ適當ナル稅率ヲ盛ッテアルノデハアリマセヌ、若シ左様ノコトヲ致シマスと云フト、外國ノ輸入品ハ防遏サレマシテモ、内地ニ於テソレニ代ルベキモノガ未ダ起ラヌト云フ時ニ於テハ、輸入品ヲ防グコトガ出來マセヌ、防グコトガ出來マセヌト云フト、ソレダケ品物ハ高クナル、即チ國民ノ負擔ガ急激ニ増加スル、斯ウ云フ心配モアリマスルニ依テ、漸次正當ナル競争ヲ致シマシテ、其結果ト致シマシテ内地ノ産業ガ除々ニ發達ヲシテ參ル、ソレニ依テ或ハ數年、物ニ依テハ十數年モ掛カルモノガアラウト思ヒマスルガ、除々ニ外國品ノ輸入ヲ防イデ内地ノ産業ノ發達ヲ期スルト云フ方針デ、所謂公正ナル競争ヲスル上ニ於テノ最少限度ノ稅率ヲ見積ッテアル譯デアリマスカラ、

只今御話ニナリマシタ通り、結局幾ラノ輸入ヲ防遏スル工業デアルカ、製造業デアアルカト云フコトヲ比較ヲ致シテ、其趣意ヲ以テ殊更ニ著シク稅率ヲ變ヘテヤルト云フ方針ヲ、一般的ニハ取ッテ居ナイノデアリマス、併ナガラ物ニ依リマシテハ、同ジク保護ヲ要スル品物デアリマシテモ、多少ノ稅率ノ違ヒハアリマスケレドモ、只今ノ御質問ノ如キ一般的ノ區別ハ致シテナイト考ヘテ居リマス

○山本委員 只今大藏大臣ノ御説ニ依ルト、昨日モ堀切君ノ質問ニ對シテ御答ニナッタ通りデアリマスルガ、輸入防遏、産業發展ト云フコトハ、是ハ御説明マデモナク洵ニ當然ノコトデアアル、國ノ産業ガ發展シ、國ノ生産能力ガ増大シナケレバ輸入ヲ防ゲヌト云フコトハ、洵ニ明カデアリマス、産業發展、言葉ヲ換ヘテ申セバ、即チ輸入防遏ト相俟ッテ自然ノ結果ガソコニ行クノデアリマラス、併ナガラ此貿易關係ガ極メテ重大ナル時ニ當ッテ、此輸入ヲ防ギ、或ハ産業發展ト云フ點カラ見テ、大體ドウ云フ種類ニ向ッテ見込ヲ立テテ、是レノ獎勵ニ依テ困難ナル貿易關係ガ改善セラレルト云フコトハ、必ズ考慮ノ中ニ入レテナケレバナラヌト考ヘテ居リマシタガ、只今ノ御答ニ依リマスと、深ク其點ニハ留意セヌト云フ意味デアラレルヤウデアリマスカラ、是ハ左様ニ承知致シテ置キマス、第三ニ私ガ御尋致シ

タイノハ今度ノ關稅ノ改正ニ依テ重要産業ノ發展ヲ圖ル、是ガ關稅改正ノ一ツノ大ナル目的デアルト云フコトデアリマスガ、第一ニ御伺致シタイノハ、重要産業ト云フノハ、如何ナル種類ヲ以テ重要産業ト云フコトニ御認メニナッテ居リマスルカ、前日來其節々ニ付テハ伺ッテ居リマスルガ、一應念ノ爲ニ重要産業ト云フモノノ御趣旨ヲ御尋致シタイ

○濱口國務大臣 重要産業トシテ、今度ソレヲ保護スルガ爲ニ相當ノ稅率ヲ引上ゲシマタ物ハ、本會議ノ説明ノ時ニモ概略申上ゲテ置キマシタガ、即チ第一、第二ト分ケテ説明致シテ置キマシタガ、第二ニ屬ニスルモノデアリマス、此度ノ稅率ニ於キマシテ、特ニ重要産業ト認メテソレニ向ッテ稅率ヲ増シマシタモノハ、重ナル物ヲ申シマスと云フト毛織物デアリマス、ソレカラ機械類ノ或ル種類ノ物、是ニハ御承知ノ通り非常ニ種々ノ種類ガアリマスノデ、一々ドウ云フ機械デアアルカト云フコトヲ只今申ス譯ニハ參リマセヌガ、或ル種類ノ機械類デアリマス、其次ニハ或ル種類ノ藥品デアリマスガ、是亦其種類ガ多數デアリマスノデ、一々ハ申シマセヌガ、或ル種類ノ藥品、或ハ「ホッブル」ノ如キモノ、或ル種類ノ硝子板ト云フ如キモノ、其他此稅率表ニ於キマシテ尠カラズアルノデアリマスケレドモ、大體申シマスレバ、只今例示致シマ

シタ物ガ其重ナルモノデアリマス

○山本委員 只今ノ御説明ヲ承リ、此重要産業ト云フモノハ、只今御述ベニナリマシタ種類ノ物ヲ以テ重要産業ト云フコトニ見ラレテ居ルヤウデアリマスルガ、左様致シマス、只今御述ベニナリマシタ毛織物、藥品ト云フヤウナ、主トシテ工業品及化學品ヲ除キマシテ、他ノ産業ハ我國ノ貿易ノ上ニ關係ヲシ國ノ經濟狀態カラ考ヘテ見テモ、是ハ重要産業ト御覽ニナラスト云フ譯デアリマセヌケレドモ、此關稅改正ノ場合ニ當ッテハ、政府ハ重キヲ置カレナカッタコトノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、私ガ申上ゲルマデモナク、日本ノ一般産業ハ極メテ不振デアアル、マダ食糧スラモ自給自足スルコトガ出來ヌ狀態デアリマス、其外國民ノ衣食住ニ關スル必要品スラモ、其多クヲ外國ニ仰ガナケレバナラスト云フ實況デアアルデアリマシテ、此國民生活ノ如キ國家經濟ノ上カラ考ヘマシテ、寧ロ只今御述ベニナリマシタル種類ノ物ヨリハ、其他ニ屬スル産業ノ發展ト云フコトガ國ノ全體ノ上カラ見テ最モ必要ナコトト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ關稅改正ニ對シテ、政府ハ産業ノ發展ヲ圖リ、而シテ其結果貿易ノ改善ニ資スルト云フ御趣意ヨリ見マシテモ、何故ニ只今御述ベニナッタヤウナ全ク工藝品、工業品ノ一部ニ限ッテ關稅ガ改正セラレ、保護的關稅ガ行ハレル

一面ニ於テ、所謂天惠ノ資源ヲ開イテ、即チ國內ニ於ケル農產物或ハ鑛產デアルト云フヤウナモノニ對シテ、而モ食糧スラモ自給自足ガ出來ヌト云フヤウナ今日ノ狀況ニ對シテ、何故ニソレニ重キヲ置カレナカッタカト云フコトヲ、私共ハ甚ダ不審ニ感ズルノデアリマス、統計ノ上カラ見マシテモ、又今回御提出ニナリマシタル改正案ノ上カラ見マシテモ、例ヘバ木材、肥料ノ如キ、是等兩品種デ殆ド三億萬圓内外ヲ輸入シテ居ル、而モ是ハ依然トシテ無稅デアリマス、更ニ農產物ニ於テ小麥ノ如キ、或ハ大豆ノ如キ、依然トシテ現行率ニ置イテ居ルカ、若クハ極メテ少額ナル増額ガアッタノデアリマス、四十二年ノ前回ノ關稅改正以來、是等ノ農產物ノ物價ナドハ非常ナ騰貴ヲ致シテ居ル、然ルニ之ニ對シテ課稅ガ變化致シテ居ラスト云フコトニナレバ、其率ハ寧ロ輕減サレタコトニ當ルノデアリマス、私共ガ見マスルト、只今申上ゲタ木材デアルトカ、若クハ肥料デアルトカ、麥類、大豆ト云フ如キ物ダケヲ合セテモ、約五億圓ノ輸入ヲ日本ガ致シテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ物デ獎勵ナリ或ハ保護ナリノ意味ニ依テハ、容易ニ日本デ出來ル物ガ澤山アルノデアリマス、容易ニ此生産ヲ爲スコトガ出來ルノデアリマス、假ニ是ガ半分日本ノ國產ニ依テ補ハレルト致シマシテモ二億五千萬圓、昨日大藏大臣ノ述ベラレ

マシタル輸入ノ高、現在ニ於ケル輸入超過ノ高ニ相當スル高デアアル、是ハ國民生活ノ必需品デアアル、少クトモ有ユル方法ヲ以テ自給自足ノ方法ヲ講ズル必要ガアルニモ拘ラズ、其方面ニ對シテハ何等考慮ヲ加ヘラレズシテ、單ナル——只今申サレマシタヤウナ工業品ニ對シテ專ラ力ヲ注ガレ、其他ノ物ニ對シテハ何等考慮ヲ加ヘラレテナカッタト云フコトハ、私ハ屢大藏大臣ノ繰返サレル産業發展若クハ貿易關係ニ於テ、甚ダ了解ニ苦ム所デアリマス、政府ハ是等ノ物ニ對シテ、將來國民ノ生活ニ必要ナル是等ノ物ハ、永久ニ外國カラ輸入シテモ差支ナイ、又サウセナケレバナライモノト云フ御考デアリマスカ、關稅ガ主トシテ工業若クハ化學用品ニ重キヲ置イテ、産業ニ重キヲ置カナカッタト云フ御趣意ヲ承リタイ

○濱口國務大臣 初ニ御答ヲ致シマシタノハ、重要産業ト認ムベキモノデアラ、此度ノ改正案ニ於テ稅率ノ引上ヲ見タモノヲ申述ベタノデアリマス、稅率ノ引上ヲ致シマセヌ、拾置イタモノニ付テモ、重要産業ト認ムベキモノハ尠カラヌノデアリマス、或ハ他ノ觀察カラ申シマスレバ、稅率ノ引下ヲ行ッテモ宜シイモノト考ヘルモノデアリマシテモ、其重要産業タルノ故ヲ以テ引下ヲ致シマセヌデ、稅率ヲ据置ニ致シタト云フモノモアルノデアリマス、即チ只今御述ベニナリマシタ銅デアリマス、此銅ハ御承知ノ通り最近ニ於テ稅率ガ引上ゲラレテ居リマス、確カ大正十一年ノ改正デアッタト思ヒマス、其前ニ於テハ遙ニ率ガ安クシテ、十一年ノ改正ニ依テ相當ニ引上ゲラレテ居リマス、其引上ゲラレテ居リマス所ノ稅率ヲ其儘据置イタノデアリマス、ソレニ依テ相當ナル保護ヲ與ヘルコトガ出來ルト思ッテ据置イタノデアリマス、ソレカラ木材ノ御話モアリマシタガ、木材ハ大體ニ於テ据置ニナッテ居リマスルガ、私モ明瞭ニ其細目ヲ記憶致シテ居リマセヌケレドモ、或ル種類ノ木材ニ付テハ、無稅ヲ有稅トシタト云フ種類ノモノモアリマス、何レ是ハ一品々々ニ付テ説明スル時ニ申上ゲルコトニ致シタイト考ヘマスガ、有稅ニシタモノモアリマス、ソレカラ農產物ノ事ニ付テ御質問ガアリマシタガ、農產物ハ小麥其他大體ニ於テ引上ゲラレテ居ナイノデアリマス、即チ据置ニナッテ居リマス、然ラバ内地ノ農產物ハ衰微ヲ致シテ、外國ノ輸入品ニ全然仰グト云フコトニナッテモ宜シイカト云フ疑モ起ルカト思ヒマスガ、私ハ左様ナ考ヲ持ッテ居リマセヌ、若シサウ云フ方針デアリマスナラバ、小麥ノ關稅ノ如キハ或ハ之ヲ現行ノ稅率ヨリモ引下ゲ、或ハ無稅トスルト云フ態度ヲ政府ガ執ッタ場合ニ於テハ、内地ノ小麥ガ減ビテモ宜イ、衰ヘテモ宜イ、外國カラ輸入スレバ宜イト云フ結論ヲ生ジマヌケレドモ、

サウハ致シマセヌノデ、小麦ノ關稅ノ如キハ據置ト云フコトニ致シテ居リマス、之ニ依テ大ナル影響ヲ受ケルコトハ無イト云フ見込據置イタノデアリマス、ソレカラ肥料ノ御話ガアリマシタガ、例ヘバ大豆ヲ輸入致シテ肥料ヲ造ル、其場合ニ於キマシテハ、其肥料ヲ造ル際ニ出マシタ所ノ大豆ノ油マデモ、併セテ免稅ヲスルト云フヤウナ事ニナツテ居ル狀況デアリマス、要スルニ内地ノ産業保護ト云フコトニ對シマシテハ、廣ク諸般ノ事情ヲ綜合致シマシテ、消費者ノ利害、生産者ノ利害、中ミ一致シ難イモノデアリマスガ、其調和ヲ圖ルト云フコトガ餘程重大ナル事柄デアツテ、而モ必要ナ事デアラウト考ヘマシテ、殊ニ農産物ノ關稅ニ付キマシテハ、其兩者ノ利害ノ調和ヲ圖ルト云フコトニ最善ノ注意ト考慮トヲ加ヘマシタ結果、此度ノ改正案通リ提案致シタ次第デアリマス、其調和ヲ圖リマシタ結果ガ、御手許ニ廻ッテ居リマスル所ノ稅率ニ現レテ居ル、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山本委員 只今御説明ヲ承リマシタガ、大藏大臣ハ銅ノ關稅ヲ引下ゲナカッタコトガ、即チ我國ノ銅山業ニ對スル保護デアルト、恐クハ其御話ニナツタ意味ハ、是ガ即チ政府ノ持ッテ居ル方針ノ一端デアアル、故ニ内地ノ鑛山ニ對スルコトハ、政府ハ大ニ保護スル精神デアルト云フ意味ヲ含マレタ一例デアアル

ト考ヘルノデアリマス、尙ホ木材ニ對シマシテ、或モノハ無稅デアアル、或モノハ有稅デアアルト云フ御話デアリマス、洵ニ此表ヲ拜見シテモ左様ニナツテ居リマス、其有稅デアアルト云フモノハ、例ヘバ黑檀デアアルトカ、桐デアアルトカ、所謂贅澤品ニ屬スル、是ガ有稅デアアルコトハ勿論當然デアリマスケレドモ、即チ一億萬圓亞米利加カラ這入ル松、杉ノ如キ、斯様ナモノガ悉ク無稅ニナツテ居ル、ソレハソレト致シマシテ、只今御話ノ——私ノ御尋ヲシテ居ル要點ハ、此度ノ關稅改正ガ工業ニ專ラデアアル、政府ガ豫算ノ中ニ御組入ニナリマシタ千九百萬圓、私共ノ豫算デハ是ハ恐ラク三千萬圓、四千萬圓ニモナラウカト考ヘマスガ、此輸入稅ノ増加ハ如何ナル品物ニ向ッテ課セラレテ居ルカト云ヘバ、先刻モ御述べニナリマシタ通り、殆ド其全部ハ工業品ニ課セラレテ居ル、棉花ノ如キ、羊毛ノ如キ原料ニ對シマシテモ、殆ド全部無稅デアアル、ソレ故ニ此度ノ關稅改正ハ他ノ産業ヲ殆ド事實ニ於テ無視サレテ居ル、只今大藏大臣ノ御述べニナツタ農産物ノ關係其他ハ加減ヲシテ、經濟上ノ狀況ニ鑑ミテ調和ヲ圖ッタト云フ御趣旨デアリマスケレドモ、事實ハ此度提案ノ關稅改正ノ御趣旨ハ、是ハ明ニ唯工業ト化學用品ニ過ギナイト思フノデアリマス、他ノ農産物或ハ天產物ニ對シテノ意味ニハ、何モ考慮セラレナカッタト云フコト

ガ事實デアリマス、私ハ此點ガ甚ダ了解ニ苦ム、關稅ノ政策ト云フコトハ、國ノ經濟ノ上カラ見マシテモ、貿易ノ上カラ見テモ、極メテ重大ナル政策デアルト云フコトハ言フ迄モナイノデアリマシテ、此政策ハ一般ノ産業ニ及バナケレバナラス、日本ノ今日ノ工業狀態ハ極メテ幼稚デアリマス、工業國ト名乗ルダケノ價值ハナイ、之ニ向ッテ獎勵スルト云フコトモ、亦當然ノ事デアアリマススケレドモ、此國ノ經濟ノ根本ヲ如何ニ維持シテ行クカト云フコトガ、固ヨリ其大本デナケレバナラスト吾ミハ考ヘテ居ルノデアリマス、此意義ニ於テ只今御説明ガアリマシタケレドモ、私ハ農産物——殊ニ山國ヲ控ヘタル日本ハ、是ガ山林政策ト相俟ッテ、或ハ山林鐵道ニ依テ現在アル山林ノ開發ノ如キ、新シキ植林計畫ノ如キ、是等ト相俟ッテ天產物ナリ若クハ農産物ノ産業ノ發展ト云フコトガ、國ノ上カラ絶對必要ノモノデアルト考ヘテ居ル、工業ノ事ニ對シテ非常ニ御力ヲ御加ヘニナリマシタケレドモ、此工業國デナイ日本ニ於テ、國ヲ利スルト云フ國ノ經濟ノ大體カラ言ヒマシタナラバ、恐クハ大部分ノ工業ノ原料ト云フモノハ外國カラ輸入シテ、之ヲ加工シテ國內デ需要シ、其餘タモノヲ外國ニ輸出スルト云フコトハ、國ノ經濟ノ上カラ見レバ利スルモノハ唯加工賃ニ過ギナイ、日本ノ天惠ノ富ヲ開イテ、日本ノ農産

物、林業品、鑛產ト云フモノ、資源ノ開發ニ依テ、ソレカラ得ル所ノ收穫ハ、全部國ノ經濟ヲ利スルノデアツテ、同日ノ談デハナイノデアアル、然ルニ其困難ナル、最モ國ノ經濟ニハ利益ノ少イ工業品ノ方ニ、殆ド全力ヲ入レラレタル關稅ノ改正ガアツテ、他ノ天產物、農産物ト云フヤウナモノニ甚ダ輕クナリ、寧ロ何等ガ著イテ居ナイト云フコトハ、私共甚ダ了解ニ苦ムノデアリマス、是ハ國ノ根本ノ經濟政策トシテ、只今御述べニナツタ所デハ甚ダ了解ニ苦ムノデアリマスガ、今一應大藏大臣ニ根本方針トシテノ御趣意ヲ承リタイト思フノデアリマス

○濱口國務大臣 此度ノ關稅ノ改正ニ當リマシテモ、亦關稅ノ改正ト云フ一ツノ事業ヲ離レテ、國家ノ産業政策ノ全體カラ申シマシテモ、政府ハ工業ト農業トニ對シテ、決シテ差別的ノ考ハ持ッテ居リマセヌ、林業ニ對シテモ亦同様デアリマス、單リ工業ヲ重シトシテ、サウシテ林業農業、ヲ輕シトスルト云フ考ハ、毛頭持ッテ居リマセヌ、工業ノ獎勵スベキコトハ、是ハ山本君モ御承認ニナツタ通りデアリマシテ、如何ニモ日本ノ工業ハ今日極メテ幼稚デアリマスカラ、無論全部ト申ス譯ニハ行キマセヌガ、其中重要ナル工業ニ向ッテハ相當ノ保護ヲ加ヘ、其工業ヲ發達セシメテ、一面ニ於テハ輸入ヲ抑壓シ、又他面ニ於テハ年々六十萬人モ増加スル所

ノ人口ヲ維持致シ、之ヲ養フト云フコトノ必要デアルコトハ勿論デアリマス、ソレト同時ニ農業ニ對シマシテモ、十分ナル所ノ考慮ヲ拂ッテ、サウシテ出來得ルダケ外國ノ輸入ハ之ヲ少クシ、サウシテ内地ノ生産物ニ依テ供給ヲセシケレバナラヌト云フ大體ノ方針ニ至ッテハ、山本君ト少シモ變ッテ居ナイモノト考ヘマス、此關稅ノ表ノミヲ御覽ニナリマス云フト、工業品ニ對シテハ稅率ノ高メラレタモノガ至ッテ寥々タルモノデアアル、其結果カラ見ルト云フト、農業ノ方ヲ輕ンジテ、工業ノ方ヲ重ンズルヤウニ見エルト云フ御疑ガ起ルカモ知レマセスケレドモ、政府ハ左様ナル考ハ毛頭持ッテ居リマセヌ、即チ農業方面ニ關スル所ノ小麥其他ニ付キマシテハ、現在ノ稅率ヲ以テ相當保護ノ目的ヲ達シテ居ルト斯様ニ考ヘテ居リマス、此以上引上グルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ程度ノ問題デアリマスケレドモ、其度ヲ超エマス云フト、今度ハ生産者ノ利害ト消費者ノ利害トノ調和ヲ破ル虞ガアルト考ヘマス、其見地カラ致シマシテ現行ノ據置ヲ適當ナルモノト認メタノデアリマス、林業ノ問題ニ付キマシテハ、私此內譯ヲ今暗ンジテ居リマセヌカラ、御必要デアリマスナレバ、農林省ノ當局モ出席セラレテ居リマスカラ、其內譯ニ付テ御説明ヲ致スコトニ致シマス、ソレカラ全體此工業ト農業、其兩者ニ對スル所ノ

國家ノ政策ト致シマシテハ、私ノ申ス迄モナイ所デアリマスガ、單リ此關稅ノ問題ノミニ依テ、之ヲ決スベキモノデモアルマイト思ヒマス、其關稅ノ政策以外ニ於テモ、亦政府ハ相當ノ施設ヲ致シテ居ル考デアリマス、今日最重要ナル問題ハ食糧問題デアリマスルガ、食糧問題、殊ニ米ノ問題ダラウト考ヘマス、是ハ御承知ノ通り朝鮮ノ豫算ニ於キマシテ、相當ナル產米増殖ノ計畫ヲ立テテ、ソレニ依テ十二箇年ヲ期シテ八百萬石ノ產米ノ増殖ヲ圖リ、サウシテ内地ニ對スル移入ノ力ト云フモノヲ、現在ヨリモ五百萬石増加スルト云フ方針ヲ以テ計畫ヲ立テテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、其他天產物或ハ農產物ノ増殖ニ向ッテモ、此關稅ノ問題ヲ離レマシテ、豫算ノ問題ト致シマシテ、政府ハ出來ルダケノ力ハ盡シテ居ル積リデアリマス、決シテ御疑ノ如キ天產物、農產物ヲ輕シトシ、工業ノ方ニ特ニ重キヲ置イタト云フ意味デハアリマセヌ、兩々其間ニ於キマシテ少シモ輕重ノ差別ハ設ケテアリマセヌ、此政府ノ趣旨ダケハ申上ゲテ置キマス

○山本委員 只今ノ御話ハ私共ハ先刻申上ゲマシタ通り感ジテ居ル、只今大藏大臣ハ他ノ政策ニ依テスルト云フ御話ガアリマスケレドモ、凡ソ此產業ノ發展若クハ產業ノ振興ト云フコトニ對シテ、關稅政策ガ國ノ根本ノ政策トシテモ重要ナ事デアルト云フコトハ、是ハ論ズルマデモナイノデアリマス、其關稅政策ノ上ニ現レマシタ所ガ政府ノ趣旨デアリ、又ソレニ相違ナイノデアリマスガ、ソレガ今度ノ改正ニ於テ一方ニ極メテ偏重シ、一方ニ非常ニ輕カッタト云フコトニ付テ、其程度ニ對シテハ各意見モアリマセウ、大體ノ觀念ニ於テ、國ノ經濟方針トシテ、私共ガ其見解ヲ今度御提出ニナリマシタル關稅改正案ノ上ニ著シク認メルト云フコトデ、其ノ事ヲ質シタノデアリマスガ、其點ニ關スル質問ハ私ハ此程度ニ致シテ置キマス、第三ニ承ッテ見タイノハ、此度ノ主トシテ工業ニ付テノ關稅ノ改正、政府ノ豫算ニ依ルト千九百萬圓、私共が見タル之ニ對スル工業品ノ輸入高ハ、恐クハ四億圓内外ノモノニ對シテノ増率デアリハセヌカト考ヘマス、詳シクハ計算ヲ致シテ見マセヌガ、假ニ政府ノ豫定セラレタルガ如ク關稅ノ增收ガ二千萬圓ト見ル、而シテ其關稅ノ増率ニ蔽ハレタル輸入品ノ總額ガ四億圓ト致シマスルト云フト、五分ノ増率ト云フコトニ平均シテ當ルノデアリマス、此五分ノ増率ガ日本ノ產業ト工業ニ對シテドウ云フ效果ガアルデアリマセウカ、大正十二年以來外國トノ爲替相場ハ暴落致シマシテ、亞米利加トノ爲替相場ハ三十八弗内外ニ暴落致シタ、昨年ノ秋ニ至ルマデ四十弗乃至四十弗前後ニアリマシタコトハ、私ガ申上グル迄モアリマセヌ、此爲替相場ノ

暴落ハ四十弗ト見テモ、平生ノ爲替相場カラ見レバ二割ノ下落デアアル、即チ大正十二年以後約二ヶ年間ハ、日本ノ產業ハ二割ノ保護ヲ受ケテ居ッタ、別言スレバ爲替相場ニ依テ日本ノ產業ハ發達ヲ促サレテ、保護サレタト云フ形ニ相成ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ此二割ノ保護ヲ受ケタル日本ノ產業ガ、此間ニドウ云フ發展ヲシタカ、種々事情モアリマセウガ、私共ガ認メタ所デハ、此日本ノ產業ハ著シキ發展ヲシタトハ何等認ムベキモノガナイ、戰時中起ッタル工業ノ如キモ、皆戰時ガ目的デアリマシタノデ、寧ロ萎縮シ或ハ工場ヲ閉鎖シタト云フモノガアッタト認メルノデアリマス、政府ノ今度行ハレマス是等ノ工業ニ對スル増稅ガ數字ノ上カラ見テ平均五分デアアルガ、是ガ果シテ政府ガ期待セラレルガ如ク、我國ノ產業ニ有盛ナル影響ヲ來シテ、ソレガ大ニ發展スルコトガアルト云フ御積リデセウカ、一應此點ヲ承リマス

○濱口國務大臣 初ノ御話ハ別ニ御質問デハナカッタヤウデスガ、政府ノ考ガ徹底致シマセヌト洵ニ遺憾ニ思ヒマスカラ、一應簡單ニ辯ジテ置キマス、山本君ハ現在ノ定率表ヲ基礎ニ致サレテ、ソレヲ標準トセラレテ、此度ノ政府ノ改正案ヲ比較サレマシテ、現在ノ定率表ニ對シテ工業品ニ付テハ引上ガ多イガ、農產物、林產物、ニ付テハ殆ド引上ゲラレテ居ナイ、ソレヲ以テ政府ノ工業

ニ對スル所ノ政策トカ、農業ニ對スル所ノ政策トノ間ニ大分ノ差別ガアルヤウニ思フト、斯ウ云フヤウニ御解釋ニナツタヤウニ私ハ了解致シマシタ、若シ左様デアリマスルト、是ハ政府ノ考トハ大分齟齬スルト思ヒマス、初ニ山本君ノ御質問ニ對シテ御答ヲシマシタ如クニ、此度ノ關稅ノ改正案ハ現行ノ稅率ヲ基準トシテ調ベタモノデハナイト云フコトヲ明瞭ニ申上ゲテ置イタノデアリマス、而シテ山本君ハソレニ對シテ同感ノ意ヲ表セラレタノデアリマス、然ラバドウシテヤツカト申セバ、即チ内地ニ於ケル所ノ生産ノ狀況竝ニ生産ノ費用、ソレト競争スベキ外國品ノ沖着値段ト云フモノヲ比較對照致シマシテ、此程度ナラバ現在ノ稅率ヲ引上ゲテ宜シイ、此程度ナラバ引上ゲル必要ガアルト云フノデ、新ニ稅率ヲ盛ツタモノガ此度提案ヲ致シマシタ改正案デアリマス、ソレヲ現行ノ稅率ト比較致シマス、或モノハ引上ニナツテ居リ、或モノハ据置ニナツテ居リ、或モノハ引下ニナツテ居リマス、又無稅ノモノガ有稅ニナツタリ、有稅ノモノガ無稅ニナツタモノモアリマシテ、區々マチマチデアリマスガ、大體ニ於テ改正案ニ提出サレタ其趣旨ハ、現行ノ稅率ヲ基準トシタモノデハナイ、即チ改メテ内地ノ生産品ト外國品ノ沖着値段トヲ比較ヲ致シテ、ソレニ依テ稅率ヲ適當ニ定メ提案シタノデアリマス、即チ工業品

ニ於テハ、内地ノ生産費ト外國品ノ沖着値段ヲ比較シテ、是ダケ引上ゲナケレバ内地ノ産業ハ保護サレナイ、其保護サレル程度ニ於テ稅率ヲ盛ツタモノヲ、現行ノ稅率ト比較シ、偶ソレガ引上ニナツテ居ル、斯ウ云フ結果ヲ示シテ居ル、小麥其他農產品ニ付テハ、内地ノ生産ノ狀態、段別ノ消長、生産ノ數量、生産費ト云フモノヲ、外國品ノ値段ト比較ヲ致シマシテ、サウシテ稅率ヲ決メマス、而シテソレガ引上ヲ必要トシナイ、据置イタ方ガ大體ニ於テ出來ルト云フ結論ニ達シタカラ、其結果カラ見ルト据置ニナツテ居ルト云フコトニ過ギナイノデアリマス、其比較研究ノ致方ハ、工業品ト農產品トニ於テ毫モ變ハル所ハナイノデアリマス、唯現行ノ稅率ニ比較ヲサレルト、サウ云フ結果ニナツテ居リマスガ、是ハ現行ノ稅率ヲ基準トシテヤツカトデハナイ、即チ種々ノ狀況ヲ綜合シテ、稅率ヲ盛ツタモノガ、現行ノ稅率ト比較シタラ偶サウナツテ居ルト云フコトデアリマスカラ、其點ハ一ツ御諒解ヲ得テ置キタイト考ヘマス、ソレカラ其次ハ、是ハ御質問デアリマシタガ、工業品ノ輸入總額ハ約四億圓アルデアラウ、ソレニ對シテ此度ノ關稅改正ニ依テ生ズル所ノ平年度ノ增收ハ千九百萬圓、是ハ主ニ工業品ニ對シテノ引上ノ結果デアル、ソレヲ輸入ノ總高ニ對シテ割合ヲ取ッテ見ルト百分ノ五ニシカ當ラヌ、百分ノ五位

ノ増率デ工業品ノ保護ガ完全ニ出來ヤウトハ思ハナイ、其證據ニハ過去二年ノ間爲替ノ下落ノ結果ト致シテ、内地ノ工業ハ二割程保護サレテ居タ譯ニナルニ拘ラズ、其二年間ニ於テ内地ノ工業ノ發達ハ甚ダ見ルベキモノハナカツタデハナイカ、即チ二割ノ間接ノ保護デスラ發達ノ蹟ノ見ルベキモノガナカッタノニ、五分ノ稅率ニ依テ之ヲ保護スルト云フコトハ、其結果ガドウデアラウト云フ御疑デアッタヤウデアリマス、四億圓ニ對シテ千九百萬圓ト云フト、如何ニモ五分ニシカ當リマセヌ、是ハサウ云フ概論デナクシテ、總括ノ計算デナクシテ、箇々別々ノ品物ニ付テノ稅率ガ果シテ保護ニナルカ、ドレダケノ效果ガアルカ、又是ダケデハ保護ノ效果ガ薄イト云フヤウニ、一品々々ニ付テ研究致シマセヌト云フト——只今ノヤウニ總額ノ四億圓ニ對スル二千萬圓ノ割合ガ五分ニナルト云フノデハ、解釋ガ出來ナイト思ヒマス、一ツ々々ニ付テハ稅率ガ違フテ居リマス、大ナル保護ヲ要スルモノハ稅率ヲ高クシテ居リマス、又其割合ガ少クテ保護ノ出來ルモノト認メマスモノハ稅率ガ少クナツテ居ル、其總平均ヲ致シマス、五分ニシカ當リマセヌガ、物ニ依テハ相當ノ率ニ上ツテ居ルヤウナ物ガアリマスカラ、是ハ願ヘレバ一ツ々々ノ品物ニ付テ能ク御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ過去二年ニ於テ爲替相場ノ

下落ノ結果トシテ、二割位ノ保護ヲ受ケテ居タト同一ノ結果ヲ見テ居タニ拘ラズ、産業ノ發展ノ見ルベキモノガナカッタト云フ御話ニ對シマシテハ、如何ニモ其通り、産業ノ發達ハ大シテ見ルベキモノガナカッタト私モ考ヘマス、其原因ハ何カ、二割ト云フ爲替ノ下落ニ依テ偶然ニ與ヘラレタル保護ガ十分デナカッタト云フダケデハナイト思ヒマス、是ハ即チ申ス迄モナク大正九年ノ財界ノ大反動ヲ受ケ、ソレガ稍恢復ノ緒ニ就カントスル際ニ於テ、偶一昨年ノ大震災ニ遭遇ヲ致シ、サウシテ資本ガ固定ヲ致シテ居リマスシ、銀行家ハ警戒ヲ致シテ居ル、金融ハ詰ツテ居ル、前ノ反動ニハ懲リテ居ル、サウ云フヤウナ際デアリマスカラ、縱令關稅ノ保護ノ如何ニ拘ラズ、過去二年間ニ於テ産業ノ發達ヲシナカッタト云フノハ、是ハ寧ロ他ノ原因デアラウト私ハ思フテ居ル、然ル以上ハ是カラ段々ト内地ノ金融モ調和ヲサレ、サウシテ金利モ自然ニ低落ヲ致シ、追々ト財界ノ整理ハ進捗スルト云フコトニナリマスレバ、此度ノ改正案ノ稅率デ相當ノ工業保護ノ效果ヲ現ハスコトガ出來ルデアラウト政府ハ考ヘテ居リマス

○加藤委員長 沼田嘉一郎君

○山本委員 私ハモウ一ツ御尋ガアリマスガ……

○加藤委員長 モウ今日午前デ打切りタイト思ヒマスカラ……

○山本委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明

ハ、是ハ見様ニ依テ色々ニナルノデア
リマスガ、經濟界ガ——輸入税ノ全體
論ニ對スル五分、物ニ依テ色々、高下ノ
アルコトハ申ス迄モナイノデアリマス
ケレドモ、全體ヲ通ジテ五分ト云フコ
トト、全體ヲ通ジテ二割ト云フ問題ノ
輕重ガ、私ノ御尋シタ趣旨デアリマシ
タケレドモ、ソレハ其程度ニ致シテ置
キマシテ、今一ツ御尋致シテ見タイノ
ハ、政府ガ前年贅澤税トシテ、贅澤品ノ
輸入ニ對シテ十割ノ課税ヲセラレテ居
ツタノデアリマス、此度ノ關稅改正ノ
表ヲ拜見シテ見マシテモ、贅澤品ト認
メラルベキ完成品ニ對シテハ、矢張其
趣旨ガ一貫シテ扱ハレテ居ルヤウデア
リマス、併ナガラ私共ノ見ル所ヲ以テ
スルト、原料品ノ中若クハ半製品ノ中
ニモ、矢張贅澤ノ意味ヲ含ンダ物が隨
分澤山アリハセヌカト思フ、例ヘテ申
セバ極ク高價ナ麻ノ製品ノ如キ、或ハ
綿ニ致シマシテモ、同ジ綿デモ「シーア
イランド」デアルトカ、或ハ埃及デア
トカ云フヤウナ種類ノ物ハ、寧ロ一般
階級ノ國民ノ主要品トシテハ贅澤ニ屬
シテ居ル、其値目モ時トシテハ殆ド絹
紬トカ、其他ノ物ニモ相對スルモノモ
幾ラモアルノデアリマスガ、今回ノ關
稅改正ニ對シテ政府ガ贅澤品ニ修正ヲ
致シタト云フ御趣旨ガ、此意味ニ於テ
或ル原料ニマデ及ンデ居リマスカ如何
ト云フコトヲ御尋シテ見タイト思フノ

デアリマス

○濱口國務大臣 嗜好品デアルトカ或
ハ贅澤品ニ近イ品物デアルト考ヘマス
物ニ對シテハ、相當ノ高率ヲ盛ツタ積リ
デアリマス、原料品ノ中是ハ贅澤品ニ
使ハルベキ原料デアアル、若クハ嗜好品
ニ對シテモ同様ノ考慮ヲ致シテ居ル
カ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、其區
別ノ出來マス物ニ對シテハ考慮ヲ致シ
マシタケレドモ、ソレガ嗜好品ニ使ハ
ル物デアアルカ、贅澤品ニ使ハル物
デアアルカト云フ、其區別ニ依テ税率
ヲ異ニスルト云フコトノ、事實上區別
ノ困難ナル場合ニ於キマシテハ、是ハ
別ニ税率ヲ異ニ致シテ居リマセヌ、主
トシテ其區別ガ實行上困難デアルト云
フ理由ヲ以テ、別ニ區別ヲ設ケナイコ
トニ致シテアルト思フテ居リマス、尙ホ
其品物ニ付テハ、逐條のニ御説明ヲ申
上ゲマスル時ニ申上ゲルコトニ致サウ
ト思ヒマス

○加藤委員長 沼田嘉一郎君

○沼田委員 私ハ大體質問ニ付キマシ
テハ、既ニ幾多ノ質疑應答ヲ重ネラレ
テ居リマスカラ、主管大臣竝ニ政府委
員ニ對シマシテ御尋致シタイ點ハ多々
アルノデアリマスケレドモ、是ハ各品
目ニ移ツタ場合ニ御尋スルコトニ致シ
マシテ、極ク簡單デアリマスガ、今回改
正サレマシタ定率法ト、サウシテ特別
議會及第五十議會ニ於テ協賛ヲ致シマ

シタ贅澤品輸入法トノ關係ニ付キマシ
テ、大藏大臣ニ御尋致シタイと思フノ
デアリマス、現内閣ハ世間デハ第二次
ノ平民内閣ト稱シテ居ルノデアリマ
ス、加藤子爵ガ薨去セラレマシテ大命
ノ降ル場合、此場合ニ於キマシテ——
内閣ノ辭職ノ後ヲ繼イデ、次ノ内閣ハ
何レニ移ルカト云フ場合ニ於キマシテ
ハ、何時モ言論機關ハ一致ヲ致シタコ
トハナイノデアリマスガ、今回ニ限リ
マシテ特ニ若槻君ニ大命ノ降ルモノナ
リト云フコトガ、言論機關ガ總テ一致
ヲ致シテ居ッタト云フコトハ、如何ニ國
民ガ現内閣ニ期待ヲ持ッテ居ッタカト云
フコトモ分ルト同時ニ、又如何ニ民意
ヲ尊重セララルモノデアルト云フコト
モ、明ニ是ハ私共ガ窺ハレル點ガアル
ト思フノデアリマス、殊ニ若槻君ハ政
黨出身者デアリマス、又閣僚ノ一員ニ
ナラレテ居ル大藏大臣モ、亦等シク政
黨出身者デアリマス、隨テ民意ノ如何
ニアルカ、民論ノ如何ニアルカト云フ
コトニ對シテハ、確ニ之ヲ尊重セラ
ル人デアルト云フコトヲ私ハ信ジマ
ス、即チ現内閣ノ一員デアアル岡田文相
ハ政黨出身者デハナイ爲ニ、師範教育
ノ問題ニ於テ幾多ノ波瀾ヲ起シテ居
ト云フコトハ、最モ私共ノ遺憾トスル
點デアリマスガ、大藏大臣ハ必ズ此點
ニ對シマシテハ、決シテ岡田君ノ如キ
人デナイト云フコトヲ私ハ信ズルノデ
アリマスガ、今回ノ定率法ヲ御出シニ

ナリマシタ點ヲ見マシテ、私ハ非常ニ
此點ニ對シテ疑惑ガ起ルノデアリマ
ス、ソレハ五十議會ニ於キマシテ贅澤
品ノ改正ヲナサルトキニ、特別議會デ
協賛ヲ經マシタ贅澤品ハ非常ナル世
物論ヲ招イテ、サウシテ是ガ爲ニ改正
ヲナサレタノデアリマス、然ルニ其當
時ニ於キマス所ノ衆議院竝ニ貴族院ニ
於キマシテ、此改正ヲ試ミラレタ所ノ
贅澤品ニ對シマシテハ、衆議院デハ附
帶ノ決議、貴族院デハ希望決議ヲ致シ
テ居ルノデアリマス、凡ソ民論ハ何處
ニ在ル、國民全體ノ精神ハ何處ニ在
ルカト云フコトヲ調ベル精確ナル機關
ハ、今日ニ於テハ貴衆兩院ヲ除イテハ
他ニ求メルコトハ出來ナイノデアリマ
ス、隨テ其貴衆兩院ニ於ケル附帶ノ決
議ハ、政府ハ其際ニ於キマシテ、衆議
院ノ速記録ヲ見マスルト、武藤委員長ハ
次期ノ議會ニハ必ズ政府ハ之ニ對シテ
適當ノ改正ヲ行フモノデアルト云フ言
明ヲ致シテ居ル、ノミナラズ現大藏次
官ノ武内君ガ、更ニ之ニ對シテ附帶決
議ノ意見ヲ出シテ居リマスノヲ見マシ
テモ、政府ハ次ノ議會ニ於テ改正セラ
レンコトヲ望ムト云フコトヲ申シテ居
リマス、而シテ今回御提案ニナリマシ
タ所ノ定率法ヲ見マスと、改正セラレ
タヤウニモ見エルガ、其儘出シテ居ル、
當時希望意見ヲ附セラレタ品目ニ對シ
テ、政府ガ附帶決議ヲ容レタモノノヤ
ウニ間違ヘテ見テ居ル者ガ澤山アルノ

デアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、私共ハ必ズ今回ノ定率法ニハ何等見ルベキモノヲ御出シニナルト考ヘテ居ッタ、或ハ此處ニ出シタモノガ事實デアリカ、或ハ贅澤品税ト云フモノハ別ニ殘ッテ居ルモノデアリカト云フコトヲ考ヘテ見マシタガ、此委員會ノ劈頭ニ於テ政府委員ノ説明ヲ見マス、是ハ明ニ現存シテ居ルト云フ御説明ヲ承ッタ、左様ニ致シマス、私共ハ曩ニモ申シマシタ通り非常ニ國民ノ期待ヲ以テ生レタ此内閣、而モ民論ヲ尊重スル所ノ大藏大臣ガ、斯クモ貴衆兩院ノ明ニ決議ヲシテ居ルコトヲ、毫モ眼中ニ置カスト云フコトハナイト信ズルノデアリマス、恐ラク私ノ質問ニ對シテハ、必ズ適當ノ時機ニ改正案ヲ出スト云フ御答ヲ豫期シテ居リマスガ、昨日長田君ガ大藏省ニハ痛ガアルト仰セラレテ、如何ニ衆議院ガ決議ヲシ、如何ニ建議案ヲ出シ民意ヲ代表シテモ、彼ノ綿絲ノ輸入税ノ撤廢、農産物ノ輸入税ノ増額ノ如キ、是等ニ對シテハ政府ノ御答辯ニ依リマス、毫モ其希望ヲ容レテ居ラレナイ、私共ハ決シテ左様ナ大藏省ニ痛ガ存在シテ居ルトハ思ヒマセヌ、必ズヤ此平民内閣ハ民意ノ向フ所ニ依テオヤリニナルト信ジマスガ、此點ニ對シテ大藏大臣ハ贅澤品税ニ對シテ、果シテ本期議會ニ改正案ヲ提出スル考ヲ持ッテ居ラレルカドウカト云フコトヲ伺ヒマス

○濱口國務大臣 贅澤品ニ對スル關稅ニ付テノ御質問デアリマス、此贅澤品ノ法律案ガ一昨年議會ニ提案サレタ沿革ヲ御話ニナリマシタガ、最初提案サレマシタ時ニハ、大分兩院ニ於キマシテモ議論ガアリマシテ、殊ニ衆議院ニ於テハ院議ヲ以テ、他日改正ヲ希望スルト云フ御希望モアツタヤウナ次第デアリマス、其御希望ニ基キマシテ、此前ノ第五十議會ニ於テ、政府ハ進ンデ改正案ヲ提出致シマシテ、兩院ノ御協賛ヲ經タノデアリマス、其改正シマシタ法律ガ現在行ハレテ居ルノデアリマシタガ、其改正案ガ審議サレマシタトキニ、衆議院ニ於テ更ニ改正ノ御希望ノアツタコトヲ承知致シテ居リマス、爾來其點ニ付テ攻究ヲ致シテ居リマシタガ、何分御承知ノ通り今回ハ此關稅定率法ニ對シテ一般的ノ改正ヲ計畫致シマシテ、一昨年來大藏、外務、農林、商工、四省ガ聯合致シマシテ委員會ヲ設ケマシテ、此委員會ニ出シマス原案ヲ作リマスニハ、四省ノ當該官吏ヲ以テ幹事ヲ組織シ、之ヲ幾百回トナク開キマシテ、又之ヲ議スル委員會モ殆ド幾十回タルヲ知ラスト云フ程頻繁ニ開キマシテ、政府トシテハ非常ナ努力ヲ重ネタ結果、漸ク茲ニ一般的改正案ヲ得マシテ御協賛ヲ仰グ次第トナッタノデアリマス、其間ニ於テ贅澤税ノコトモ無論考ヘタノデアリマスガ、遺憾ナガラ此度ノ一般

的改正案ト共ニ立案スル餘力ヲ得ナカッタノデアリマス、ソレデ此度ハ一般的改正案ノミヲ提案シテ、贅澤品税ノ方ハ後廻シニスルヨリ途ガナカッタノデアリマス、隨テ今議會ニ提案スル運ビニハナルマイト考ヘマス、議會ガ終リマスレバ更ニ調査研究ノ上改正ヲ要スル點ヲ發見致シマシタナラバ、適當ノ機會ニ於テ御協賛ヲ仰グ順序ニナラウト思ヒマス

○沼田委員 此議會ニ出スコトハ間ニ合ハナイト云フ御説明デアリマスガ、先刻山本条太郎君ガ贅澤品ニ關係アル質問ヲ致サレマシタ時分ニ、此定率法ノ中ニハ逐條御審議下サイマスレバ、其點ニ留意シタ點ガアルト云フコトヲ大藏大臣ガ御説明ニナッテ居ッタ、私ノ質問ニ對シテハ其所マデ調査ガ及バナイト云フ御答デアツタ、恐ラク御調査ガ済ミマシタニ拘ラズ御出シニナラヌヤウニモ思フ、此點ニ對シテ明瞭ニ其區域ヲ御答願ヒタイ

○濱口國務大臣 贅澤品等ニ對スル關稅法ハ、此一般的關稅定率法トハ全然別箇ノ法律案ニナッテ居リマス、此定率法ノ中ニ載セテハアリマスケレドモ、是ハ一般法デアリマスカラ、之ヲ出シマシタル理由ヲ以テ、前ニ御協賛ヲ經テ實行中ニ屬スル所ノ贅澤稅法ガ消滅シタ譯デハアリマセヌ、而シテ先刻山本君ノ御質問ニ對シテ贅澤品ニ近イ品物、或ハ嗜好品ト云フヤウナ物ニハ比較的高率ヲ課シテアルト申シマシタノ

ハ、ソレハ贅澤品等ニ關スル現行ノ法律トハ全然別問題デアリマス、アノ法律ハ別ニ存在シテ居ル、而シテ其贅澤稅法中ニ別記シテアリマス品物以外ノモノニシテ稍贅澤品ニ近イモノ、或ハ嗜好品ニ屬スルト云フヤウナモノニ對シテハ、相當稅率ヲ高クシテアルト云フコトヲ御答申上ゲタ積リデアリマス、是ハ贅澤稅法ト此中ニアリマス所ノ贅澤品ニ近イ所ノ品物トノ區別ヲ、能ク御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○沼田委員 此 題ハソレ以上御尋ハ致シマセヌケレドモ、只今ノ大藏大臣ノ御辯明ニ依レバ私ハ満足ガ出來ヌノデアリマス、ソレハ大藏大臣ハ此中ニ掲ゲラレタル所ノ品目ノ贅澤品ニ近イ所ノ質問デアツタカラ、ソレダケニ對シテハ考慮ヲ致スト言ッタト云フコトデアリマスガ、贅澤品ノ内デ特ニ貴衆兩院ニ於テ指摘シタ品物ハ僅ナモノデアリマス、ソレ程考慮ニ時ヲ費スベキモノデナイノデアリマスガ、之ニ考慮ヲスルコトガ出來ナイト云フ御答辯ニ對シテハ、私ハ速ニ満足スルコトハ出來スト云フコトヲ申上ゲテ打切ルノデアリマス、第二ニ御尋致シタイノハ、定率法ガ兩院ヲ通過シテ、幾多ノ機關ヲ經テ公布セラレマス、附則ニ依テ其日ヨリ施行スルコトニナッテ居ルノデアリマス、左様致シマスルト、現ニ註文ヲ致シテ居リマス所ノ、約束ヲ致シテ居ル所ノ物品ガ多々アルノデアリマス

ガ、是ハ其中デ例ヲ取ッテ申シマスレバ機械類デアリマス、是ハ目下製作中ニ掛カルモノガ多クアラウト思ヒマス、是ガ日本ニ着シタトキニハ、矢張此改正率ニ依テヤラレルノデアリマスカ、或ハ贅澤品ノ輸入法ヲ御極メニナリマシタ時分ニ、既ニ此案ヲ提出スル事前ニ約束シタモノハ即チ此法ヲ用ヒナイト云フコトニナルノデアリマスカ、此點ハ各品目ニ依テ審議ヲ行フ上ニ於テ重大ノ關係ガアラウト思ヒマスカラ、特ニ此際御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○濱口國務大臣 此法案ガ幸ニシテ兩院ノ御協賛ヲ經マシテ、サウシマスルト云フト、公布ノ日ヨリ之ヲ一齊ニ施行スルト云フ積リデアリマシテ、其間餘リ例外ハ用ヒナイ積リデアリマス、然ラバ贅澤ニ關スル關稅法案ノトキニハ多少ノ手心ヲシタデハナイカ、此場合ニ於テハドウカト云フ御質問ノヤウデアリマスケレドモ、御承知ノ通り贅澤法案ハ一昨年ノ特別議會ニ提案ヲ致シマシテ、其特別議會ノ會期ハ確カ三週間ニ過ギナカッタカト思ヒマスガ、三週間前ニ提案ヲ致シ、三週間後ニ公布ニナリマスカラ、此場合ニ於テハ斯ウ云フ法律案ガ提出サレルト云フコトヲ知リマスル前ニ、外國ノ港ヲ積出シタモノガアル、其航海中ニ於テ提案ガアッタト云フコトヲ始メテ無線電信等デ知リ、サウシテ内地ニ着イタトキニハ、其

法律ガ施行サレテ居ルト云フコトハ、聊カ酷ニ失スル憂ガアリマシタカラ、其場合ニ於キマシテハ、提案前ニ外國ノ港ヲ積出シタ物ニ限リマシテハ、多少ノ斟酌ヲ加ヘテ取扱フシタノデアリマス、然ルニ此度ハ申スマデモナク通常議會デアリマシテ、此法律案ノ提案ハ一月十九日デアリマス、兩院ノ御協賛ヲ經テ公布ニナリマスノハ早クテ三月ノ末、遅ケレバ四月ニ這入ルカモレマセヌガ、三月ノ末ニハ公布ニナラウカト思ヒマス、サウ致シマス、提案ヲ致シマシテ公布致シマスルマデニハ、七十日位ノ間ガアリマス、其前ニ外國ノ港ヲ積出シテ、サウシテ法律ノ公布後日本ニ到著スルト云フ場合ハナカラウト考ヘマス、只今ノ御尋ノ機械ノ注文デアリマスガ、ソレニ依リマスト、是レハ中ニ容易ナラヌ事デアリマス、法律ノ提案前ニ注文シタ機械ニ對シテハ、公布後ニ到著致シテモ、此改正法律ノ適用ヲ受ケヌト云フコトニ致シマス、殆ド是ハ際限ガナイ、又政府ノ提案前ニ注文シタ物デアルカ否カト云フコトヲ、事實ニ付テ調査致シマシテ、ソレヲ嚴密ニ區分スルト云フコトモ、實行上甚ダ困難デアラウト思ヒマス、サウ云フ例外ハ政府ハ採用スル考ヲ持ッテ居リマセヌシ、又船積ノ場合ヲ申スト、前段申上マシタ通り、贅澤稅ノ時ノ場合トハ全然違ヒマス、此度ハ七十日以上ノ時日ガアリマス、發布前ニ積

出シタ物デ、發布後ニ到著スルモノハ無イ、サウ云フ便宜上ノ取扱ハ此度ハ致サナイ考デアリマス
○沼田委員 私人ノ御尋スルノハ主トシテ機械類デアリマスガ、是ハ政府ノ算ニ重大ナル關係ガ起ッテ來ルダラウト思フ、又地方市町村ニモ重大ナル關係ガ起ッテ參リマス、御承知カドウカ存ジマセヌガ、此機械類ハ即時間ニ合フモノデアリマセヌ、電氣機械ノ如キモノニ致シマシテハ、少クトモ一年以前ニ注文ヲ致シテ置カナケレバナラス、ソレハ其當時ノ價格デ契約ヲシテ居リマシテ、改正定率法ニ依テ相當ノ増額ヲ見ルト云フコトニナリマスレバ、只今御提案ニナッテ居ル所ノ十五年度ノ豫算案ニモ多少ノ相違ヲ來シテ來ル、是ハ政府ト致シマシテハ、關稅ノ收入ガ増シテ來ルコトデアリマセウガ、市町村ト致シマシテハ、御承知ノ如ク非常ニ財源ニ缺乏ヲ致シテ居ルノデアリマス、只今申上ゲタ如ク注文シテ居ル機械デ今製作中ニ掛ッテ居ルモノガ多クアラウ、是ハ恐ラク全市町村ニ澤山アラウト思フ、是等ノモノガソレヲ受クルト云フコトニナレバ、忽チ豫算ニ重大ナル關係ヲ及ボシテ參ルノデアリマス、而シテ之ガ提案セラレタノハ事前デアルカ事後デアルカト云フコトヲ知ルニ非常ナ繁雜ナル手數ヲ要スルト仰セラレマシタガ、私ハ爾ク繁雜ナル手數ハ要シナイト思フ、ソレハ何故カト言ヘ

バ、其證明ヲセシムル所ノ手續ハ、帝國領事館ノ手ヲ煩ハセバ是ハ直ニ出來ルモノト思ヒマス、是ハ明カニ證明セシムルコトガ出來ル途ガアラウト思ヒマス、重ネテ御尋致シマスガ、ソレデモ尙ホ大藏大臣ハ、市町村ノ豫算ニ重大ナル關係ガ起ッテ來マシテモ、是ハ矢張先程御説明ノ如クニオヤリニナルト云フ考デアリマスカ
○濱口國務大臣 今御話ニナリマシタヤウナ結果ノ起ルヤウナ場合ガナイトモ保證ハ出來マセヌガ、ドウモ是ハ止ムヲ得ナイ事柄デハナイカト思ヒマスカ、外國ノ立法例等モ段々調べマシタガ、大藏省デ調査致シマシタ所ニ依ルト、ソコマデ遡ッテ此法律ノ適用ヲ猶豫スルト云フヤウナ立法例ハ無イカノヤウニ記憶致シテ居リマス、ノミナラズ反對ニ日本デアリマス「公布ノ日ヨリ施行ス」ト、斯ウ書キマスガ、外國等ニ於キマシテハ却テソレヲ遡リマシテ、法案提出ノ日ヨリ之ヲ施行スルト云フ立法例ガ逆ニアル位デアリマス、只今機械ノ注文等ニ付キマシテ、或ハ不利益ヲ受ケル、損害ヲ受ケル場合ガナイトハ申シマセヌ、或ハ幾分アリマセウケレドモ、ドウモ斯ウ云フ法律改正ノ場合ニ於テハ、ソコマデ斟酌スルコトハムズカシカラウト思ヒマス、サウ云フ考ハ持ッテ居リマセヌ
○加藤委員長 此際皆サンニ御諮リシテ置キマス、實ハ午後ニ續ケル積リデ

要シナイト思フ、ソレハ何故カト言ヘ

アリマシタケレドモ、大藏大臣ガ差支
ガアツテ出ラレナイト云フコトデアリ
マス、ソレニ速記モ午後ニハ及バヌト
云フコトデスカラ、午後ハ打切ッテ明後
日總體ダケヲヤリマシテ、ソレデ済マ
シテ各部分ニ入リタイト思ヒマス

午後零時十一分散會

大正十五年二月六日印刷

大正十五年二月八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社